社会インフラを支え、循環型社会を創る

技術の力で、持続可能な未来をつくる総合インフラ関連メーカー

日工グループは、アスファルトプラント（AP）・コンクリートプラント（BP）を中核に、環境・搬送設備や破砕機、製造請負まで、インフラ整備と資源循環を支える多様な製品・サービスを提供しています。

6つの事業が連携し、社会課題の解決と持続的な企業価値の向上を実現します。

社会における課題

インフラの老朽化
道路・橋梁などの更新需要が増大

脱炭素・環境負荷低減
CO_2削減、資源の有効活用が急務

資源循環・再資源化の促進
廃棄物の再利用・リサイクル推進

人手不足・生産性向上
省人化・自動化・DXのニーズ拡大

都市開発・海外インフラ需要
国内外でインフラ投資が継続

日工グループの強み

- 国内トップクラスのシェアと高い技術力
- プラントの開発から製造・販売・施工・メンテナンスまで一貫対応
- 多様な事業の連携による総合力
- 全国ネットワークと迅速なサービス体制
- DX・AIを活用したスマートプラントの提供

6つの事業が連携し、社会に価値を提供

NIKKO Technology Platform
コア技術があらゆる事業を支える

混練　加熱
搬送　制御
計量・計測　DX・AI

1 AP関連事業（アスファルトプラント）



売上構成比	39.1%
営業利益構成比	18.9%
営業利益率	5.4%

2 BP関連事業（コンクリートプラント）



売上構成比	29.1%
営業利益構成比	36.3%
営業利益率	13.9%

3 環境及び搬送関連事業



売上構成比	8.9%
営業利益構成比	22.0%
営業利益率	27.8%

4 破砕機関連事業



売上構成比	5.0%
営業利益構成比	1.3%
営業利益率	2.8%

5 製造請負関連事業



売上構成比	6.8%
営業利益構成比	9.8%
営業利益率	16.3%

6 その他事業



売上構成比	11.2%
営業利益構成比	11.6%
営業利益率	11.5%

日工グループのソリューションが活躍する市場

道路・高速道路の更新
維持・補修需要の拡大



空港・港湾・橋梁などのインフラ整備



都市再開発・再整備プロジェクト



資源循環・リサイクル
再生骨材・再生アスファルト



GX・脱炭素社会の実現
CO_2削減・省エネ設備



海外インフラ市場の拡大
アジア・新興国を中心に展開



日工グループの強みを支える基盤（2025年度）

国内静態シェア（主力製品）	メンテナンス売上比率*2	海外売上高比率	連結従業員数	国内拠点	連結子会社数
AP 77.3% BP 33.9% 環境・搬送 約65% 破砕機 15.5%*1	50.1% 安定したストック型収益	9.0% 海外事業の拡大を推進	1,169人 （グループ合計）	24拠点 全国ネットワーク	14社 （連結子会社）

2027年度　ありたい姿（中期経営計画 最終年度目標）

売上高	営業利益率	ROE	時価総額
600億円	8.0%以上	8.0%	400億円 （株価1,000円）

注：各事業の営業利益率は全社費用控除前の営業利益率です。
*1 自走式破砕機&スクリーンの国内市場シェア（2025年度・当社調べ）
*2 国内プラント事業の売上高に対する比率